

病の予防」対策について大きな示唆をあたえた。

本研究会の研究主題は、「学校病の予防」とし、保健主事部会など8分科会に分かれて各職場別に、

それぞれの立場から研究発表並びに研究討議がおこなわれた。

なお、本大会に県内の学校保健功労者飯坂小学校校医小笠原徳治氏外8名が、万雷の拍手の裡に表彰された。

本会が各方面にわたり逐年向上発展していく状況がうかがわれ、よろこびにたえない。

## B 保健主事研修会

昭和33年4月10日学校保健法が公布施行され、学校教育法施行規則が、一部改正されて、保健主事が必置されたので、この保健主事を対象とする研修会を開催した。その内容は、学校保健の諸問題、保健主事の実務、学校病の予防、医療費の事務取扱いについてである。

期日・会場および出席者

期日	会場	受講者人員
34, 5, 30	白河市立中央中学校	143
34, 6, 1	会津若松市立城北小学校	188
34, 6, 6	郡山市公民館	208
34, 6, 10	福島市公民館	187
34, 6, 12	平市立第二小学校	139
34, 6, 13	原町市立第二小学校	92
		計 957

受講者人員のうち、市町村教育委員会保健事務担当者62名がふくまれる。

講師 保健体育課長 鈴木 勝枝  
福島大学学芸学部教授 須藤 春一  
保健体育課係長 鈴木善兵衛

欠席者はほとんどなく充実した研修会であった。保健主事は各学校の中堅のものであり今後の活躍が期待される。学校保健はより一層の振興することであろう。

## C きれいでよい歯のコンクール

第三回きれいでよい歯のコンクールは、口腔衛生優良学校ときれいでよい歯の児童生徒を6月4日を中心に表彰された。

(1) 口腔衛生優良学校として表彰された学校

喜多方一小・須賀川一小・永井野小・表郷五小  
小原田小・行仁小・棚倉小  
浅川中・夏井中・只見中・浪江中・中村一中

(2) きれいでよい歯の児童生徒表彰は、地方予選を経た地区代表者(51名)より県審査をし、8名を選び、更に第二次の実地審査の結果1位入賞者は下記のとおりである。

小学校男子 1位 遠藤 英雄(喜多方第一小学校)

小学校女子 1位 田村トシエ(郡山市橘小学校)  
中学校男子 1位 灘山 国勝(須賀川第一中学校)  
中学校女子 1位 木村トシ子(福島第一中学校)

## D 健康優良児童生徒の表彰

健康優良児童生徒の表彰については、地方審査会において慎重審査した結果下記のとおりである。

(1位のみ)

真田 詎彦(河東三小)  
林 憲子(石神一小)  
馬場 健一郎(福島一小)  
市井 明子(平一中)

小学校の2人は県代表として、中央審査会に推せんした。

なえ本年度より高等学校生徒にたいしても実施したが県1位の決定は見合せ健康優良生徒として表彰した。

## 3 教職員の健康管理

### A 緒言

児童、生徒に毎日身近く接しながら授業や生活指導を行う学校の教職員の健康については、他の凡ゆる職業に於ける場合よりも、より高度の健康さが要求される事は当然のことと考えられる。然し乍ら、教職員の健康状態は決して満足すべきものではなく特に結核性疾患については、他の職業に比して決して低い率を示してはいない。

これ等の実情より早急に結核を追放する事が教職員の健康管理上最も重要な仕事である事を認識し、本県教育委員会事務局に於ては7名により構成される専門委員(結核等審査委員会)に委嘱し、既に昭和28年より現在に至るまで結核患者の減少策について色々の観点より考察し、また、それが実施を行い、極めて顕著な成績をあげる事が出来たと思われるので、その方法と結果について述べて行きたい。

行政指導面においては末端に於ける管理を強化する為、昭和24年度より各保健所とタイアップして、教委出張所および学校との密接なる連絡を保つように行っている。

### B 結核審査会について一殊に基準について一

結核対策として特に強力にとりあげた事は次の3点である。

- (1) 新規採用時の健康診断を厳格に行い、結核発病の恐れのない者を採用すること。
- (2) 現職者、特に結核要注意者からの発病防止をはかること。
- (3) 復職時の健康診断を厳重に行い再発者の減少をはかること。